

【出題方針】

本学の一般選抜（後期）の数学では、高等学校数学の標準的な内容を題材に、基礎事項の理解が確実であるかを確認します。あわせて、基本的な考え方や公式を正確に用い、条件を整理して適切に処理できる力を評価します。各分野に共通して、与えられた条件を読み取り、基本的な手法を組み合わせて無理のない論理展開で結論を導く姿勢を評価します。本学での学修に必要な数学的基礎力、論理的思考力、数量的処理能力を判定します。

【高校の学習で大切にしたいこと】

- 教科書を繰り返し読み、定義と基本的な考え方を理解してください。定理を自分で証明したり、教科書の問題を確実に解いたりできることが大切です。グラフや図を描きながら学ぶことを勧めます。
- 基礎的な問題は、教科書の例題や章末問題に丁寧に取り組みれば十分に解けます。まずは例題を理解し、章末問題（応用問題を含む）まで粘り強く解き切ってください。
- 問題文をよく読み、内容を正確に理解することが前提です。数学では拾い読みが通用しません。日頃から条件や問われていることを整理し、意味を確認する習慣を身につけてください。
- 計算力を高めるとともに、教科書の各項目のつながりを意識して学んでください。そのうえで、基本事項を適切に組み合わせて、応用問題に取り組むことが望まれます。
- 自分の考えや計算の流れを相手に正しく伝えることを意識して、解答には数字や記号、途中式を書き、見やすく丁寧にまとめる習慣を身に付けてください。

【2025年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間】

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
① 2次関数、数と式、図形と方程式	記述式	100点	50分
② 微分法と積分法			
③ 平面ベクトル			

【出題の意図】

- ① (1) 定義域をもつ2次関数の最大値・最小値に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (2) 式の置換を用いた文字式の処理（指数・分数を含む）に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (3) 連立不等式で表される領域と最大値・最小値に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

- ② (1) 微分法による放物線の接線に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (2) 定積分による面積（関数と直線）に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- ③ (1) 平面ベクトル（内積と中点）に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (2) 平面ベクトル（内分点）に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。